

第53回郡市対抗県内一周駅伝

順位アップならずも 来年の躍進に期待!!

早春の佐賀路を各郡市代表のランナーが駆ける、毎年恒例の県内一周駅伝大会が2月15日～17日にかけて開催され、13のチームが総距離269.9km、33区間のコースに挑みました。船津静哉監督率いる29人の多久市チームは粘りの走りをみせ、16時間25分41秒のタイムを出し、第12位でした。若手の選手の活躍や全体でカバーする走り、来年につながる大会となりました。



▲初日、13チームが基山町役場を一齐にスタート（中央：鶴 紘寿選手）



▲15区 塚原大和選手



▲7区 山下勝平選手



▲11区 森下義仁選手（写真左）



▲29区 出雲一真選手



▲13区 荒川弘孝選手



▲14区 14.3kmを力走する
諸田雄一郎選手



▲26区 北多久町を走る
山本絢裕選手



▲中学生ランナー
谷内ひかる選手
（最終日：31区）



▲渾身の走りでゴールするアンカーの
藤井康輔選手（佐賀新聞社前ゴール）

市長コラム

温|故|創|新|

Message for citizen

水道料金値下げ議案を提案します

市長 横尾俊彦

安倍内閣による経済景気対策とその効果、いわゆるアベノミクスにより経済回復への期待が膨らんでいます。為替レートも動き、円高が円安へと移行し、それにより輸出産業が活気を取り戻しつつあります。でも一方では輸入品価格が割高になり、様々な懸念も生じつつあります。石油や食品の価格、さらに電力料金等を上昇させる影響で、暮らしの先行きに心配も募りつつあります。

そんな暮らしの情勢も踏まえ、定住対策・企業誘致対策等も勘案し、これまでの検討成果として3月議会に水道料金値下げ議案を提案します。

市の上水道の水源のひとつである佐賀西部広域水道企業団からの受水単価の値下げと利益剰余金を活用し料金値下げをしたいという提案です。

値下げ率は一般家庭で平均12.06%、業務用で平均4.71%、全体平均では9.89%の値下げ改定案です。具体例でみれば、一般家庭で20㎡使用の場合で現在5,460円が4,725円となります。

市議会で議決されれば、4月検針分から料金値下げし、市民の皆さんの負担を軽減します。

また、定住対策・子育て支援策については昨秋10月から子どもの医療費助成を大きく改善して実施しています。新たに中学生までを対象とし、通院・入院などについて県内トップクラス級の助成に踏み切りました。

これらの策が奏功して市民生活支援になり、そして定住増などの効果が出ることを期待しています。もちろん対策の工夫はさらに続きます。